

2018年3月2日
日本生命保険相互会社

『中学生・高校生向け出前・受入授業』の
「平成29年度青少年の体験活動推進企業表彰 審査委員会奨励賞」受賞について

当社が2011年度より社会貢献活動の一環として行っている『中学生・高校生向け出前・受入授業』が、文部科学省が主催する「平成29年度青少年の体験活動推進企業表彰」において、「審査委員会奨励賞（大企業部門）」を受賞しました。

「青少年の体験活動推進企業表彰」は、文部科学省が主催し、社会貢献活動の一環として青少年の体験活動に関する優れた実践を行っている企業を表彰し、全国に広く紹介することにより、青少年の体験活動の推進を図ることを目的とした表彰制度です。

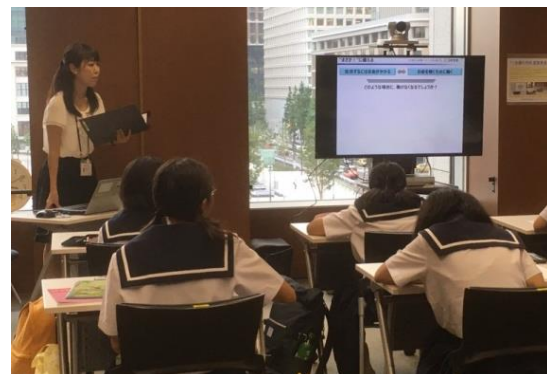
『中学生・高校生向け出前・受入授業』は、子どもたちが自分自身の将来について考え、きり拓いていくことを応援したいとの思いで、2011年度より開始したプログラムです。全国の職員が講師となり、「出前授業」では学校を訪問し、「受入授業」では当社丸の内ビルに生徒が来社して、「ライフイベント」「万一の備え」「将来設計」等をテーマにした授業を行っています。実施地域は2015年度には全都道府県を網羅し、2011年度からの7年間で延べ約480校・生徒約4万8千名にご参加いただきました。

2018年度はより生徒参加型のプログラムとなるよう一部プログラム内容の見直しを行い、これからも未来を創る子どもたちのための活動を続けてまいります。

《授業風景》



出前授業



丸の内ビルでの受入授業

《教育現場から寄せられた声》

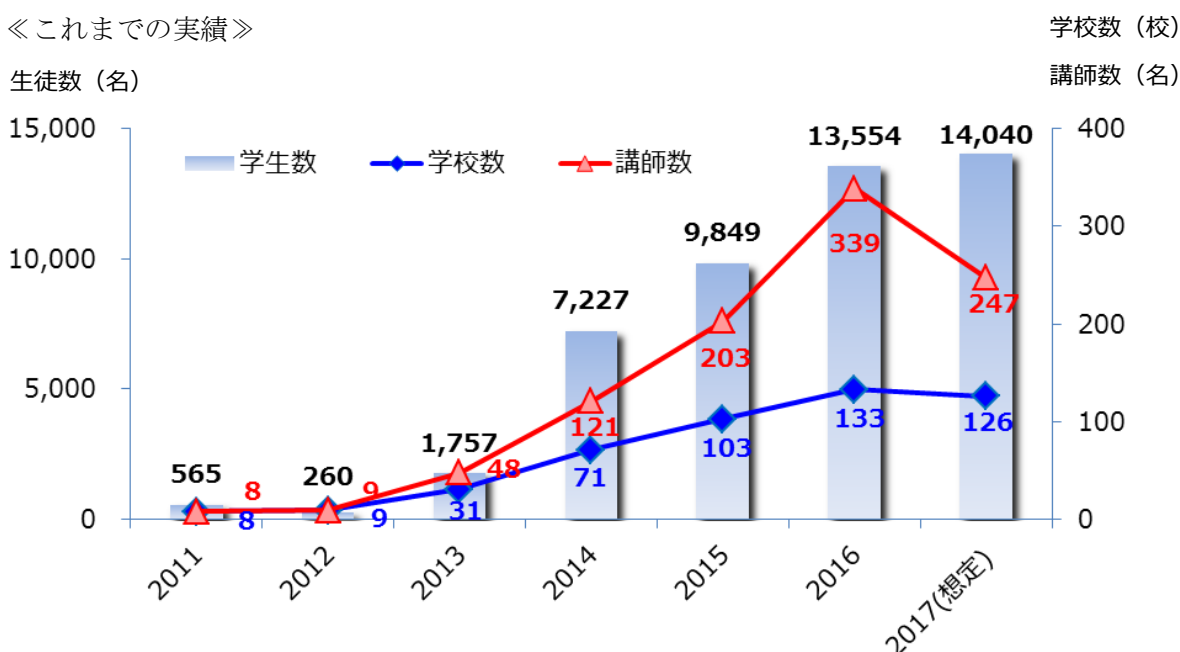
1. 生徒からの感想

- ・ いつも学校に通えているのを当たり前だと思わないで、自分の親や周りで支えてくれている人への感謝の気持ちを忘れず、毎日一生懸命勉強や行事に取り組もうと思った。
- ・ 自分にはいろいろな可能性があることを知れた。目先の未来だけでなく、遠い将来のことを考えてみようという気持ちを持たれた。
- ・ 今もう既に自分の行動1つ1つが自分の将来へと直接的につながっているということを知ることができた。

2. 先生からの評価

- ・ 目先の進学・就職だけでなく、夢や目標をもち、それを実現させるためにしっかりとしたライフデザインを考えるという第一歩が踏めたのではないかと思った。
- ・ 「進学するため」の進路選択ではなく、その先の将来を見据えた進路選択を考えるきっかけになったと思う。高校進学にもお金がかかり、当たり前に進めるわけではなく、それを家族が支えてくれていることにも気付いたと思う。

《これまでの実績》



- 講師は当社の従業員が自主的にエントリーし、2017年度は247名（年度末想定）が講師をつとめました。当取組は、従業員にとっても生命保険の意義を再確認し、業務に対するロイヤリティが高まる機会にも繋がっております。